

病理学実習

1 単位 (必修) 3 年

Practice in Pathology

香川 典子・教授 / 保健学科 検査技術科学専攻 形態系検査学講座, 天羽 則子・非常勤講師, 濱野 修一・助教 / 保健学科 検査技術科学専攻 形態系検査学講座
富永 辰也・助教 / 保健学科 検査技術科学専攻 形態系検査学講座

【授業目的】 病理診断は最終診断であり, 他の種々の検査にもまして重要である。
病理診断の際に必要な顕微鏡標本の作製技術の習得を目的とする。

【授業概要】 病理組織標本の作製を, 剖検材料を用いて実習する。組織片の切り出し, 固定, 包埋, 薄切, 染色を行い, どのような組織が何色に染まるか鏡検する。

【履修上の注意】 色鉛筆とスケッチブックを用意すること。

【到達目標】 病理組織標本作製における基本手技と一般的染色法を習得する。

【授業計画】

1. 組織片の切り出し, 固定, 包埋
2. ミクロトームによる薄切
3. ヘマトキシリン・エオジン染色
4. ワンギーソン染色
5. エラスチカ・ワンギーソン染色
6. アザン染色
7. 実習試験, 標本提出

【成績評価】 実習試験, レポート, 標本, スケッチおよび実習態度などに総合的に評価を行う。

【教科書】 臨床検査講座 病理学/病理検査学 (医歯薬出版)

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217943>

【連絡先】

⇒ 香川 (088-633-9065, kagawa@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL